

ゾウの誕生 【The birth of an elephant】

http://www.upali.ch/birth_en.html

なぜ、子ゾウの誕生が重要か？

自然界では、アフリカゾウとアジアゾウの両種とも、絶滅の危機に瀕しているため、自然界のみならず動物園の場合においても、あらゆる子ゾウの誕生は、これらの種の保存のために、非常に重要なことである。



子ゾウの誕生が重要であるということは、動物園でも同じか？

現在、ほとんどの動物園で生活しているゾウたちは、非常に年老いている。これらの年老いたゾウたちは、インド、ケニヤ、ビルマなどの自然生息地で捕獲され、直接、動物園に輸出されたものである*1。しかし、現在では、『種の保護に関するワシントン条約』*2にしたがって、ゾウの狩猟、捕獲、商取引（売買）は禁止されている（ゾウだけではない）。ワシントン条約により、野生個体の新規導入は、非常に難しいので、もし、動物園が、市民に対してゾウたちの展示を続けたい場合、動物園は、ゾウたちが繁殖できるチャンスをゾウたちに供与し、ゾウという種にあったやり方で、子ゾウたちを適切に育てなければならない。

ゾウの誕生は、動物園にとってどんな意味があるか？

動物園やサーカスにおけるゾウの誕生は、ゾウの群れ、ゾウの飼育係、動物園の観客、マスコミにとって、もちろん、さらに動物園の簿記係（経理係）にとっても、すごいイベントである。ゾウの赤ちゃんが生まれると、動物園の観客は、1万人増える。

飼育係たちは、いつ、出産準備を始めるか？

最終交尾から約 22 カ月後を理論上の予定日として、その約 1 カ月前から、ゾウ舎にお

*1 訳者注：飼育下の全てのゾウたちが、捕獲されて輸入されたわけではない。

*2 ワシントン条約は、通称であり、日本における正式名称は、『絶滅のおそれのある野生動植物の種の国際取引に関する条約』であり、略称は CITES（サイテス）である。

いて、出産準備を始める。

ゾウの飼育係たちは、夜間の観察を始める。そして、妊娠中のメスゾウを、いわゆる産室（分娩用の個室）に終夜隔離する。産室でのメスゾウは、他のゾウたちが居ないので、より静寂に過ごすことができ、自分だけのエサを食べることができる。他のどのメスゾウも妊娠中のメスゾウのその権利を妨害できない。夜中じゅう妊娠中のメスゾウを観察した飼育係は、自分の観察結果（所見）を同僚と上司に報告する。

獣医師たちは、全ての起こりうる疾患（合併症）に備えて準備する。

動物園の観客とマスコミは、好奇心でいっぱいになり、正確には、いつ赤ちゃんゾウが生まれるかを知りたいので、何度も何度も、聞いてくる。

赤ちゃんゾウの誕生には、どのくらい時間がかかるか？

赤ちゃんゾウの誕生は、ほとんどの場合、2晩にわたる。

最初の夜の間、いわゆる前駆陣痛が始まる。メスゾウの外陰部から粘液が流出し、ほとんどの場合、粘液栓もまた出てくる。粘液栓とは、妊娠期間中に、子宮頸管外口*1に蓋をしている白い硬い粘液のことである。前駆陣痛の間、赤ちゃんゾウは、最終的な胎位（胎位とは、胎仔の姿勢のこと）になる（すなわち、胎仔は、陣痛により、子宮頸管のほうへ押し出され始める）。

2日目の晩に、子宮の第二期収縮によって始まり早朝まで続く真の出産が始まる。

ゾウは、どのようにして生まれるか？

写真は、チューリッヒ動物園で、2002年5月13日に Chandra（メス）が生まれた経過を示している。

2002年5月12日に、多少の粘液が、母ゾウの Indy の外陰部から流出した。

5月13日の夜、Indy の外陰部から、何度も何度も粘液と血液が出て、時々、陣痛が起きた。

翌朝、Indy の尾の下方に、小さな、普段見られない膨らみが見られた。この膨らみは、胎胞（胎仔を



*1 『しきゅうけいかんがいこう』と読む。子宮と膣の間をつなぐ細く硬い管組織を子宮頸管と呼び、外口はこの頸管の膣側の開口部のこと。

包む羊水の入った袋)の一部が、すでに産道に出たことを意味する。

野生動物は、邪魔が入らないように、普通、夜に出産する。もし、子ゾウが、夜明けまでに生まれなかったら、そして、もし分娩を中断できる状態であれば、母ゾウは、分娩を中断する。***1** この分娩中断は、Indy の場合にも起きた。

2002年5月13日の夕方に、Indy の分娩は続いていた。午後9時30分頃に、胎胞の一部が、風船のように現れた。

Indy は、胎胞を取り除こうとしたり、押し潰したりしようとしたが、それはできなかった。この後の90分間には、ほとんど、なんの変化も見られなかった。

収縮（陣痛）は、ごくわずかだった。



午後11時に、第二期収縮が始まった。このちょっと後に、赤ちゃんゾウの後肢が、飼育係たちから見えた。



***1** ゾウは、自らの分娩の進行をコントロールできる動物であるから、胎仔が生まれなければならない位置に居なかったり、周囲が騒がしかったりしたら、分娩を一時中断できる。

数回以上の第二期収縮の後、午後 11 時 10 分に、Chandra が生まれた。

Indy は、すぐさま、Chandra の体にまだ付着している羊膜（胎胞の膜）を鼻で取り始めた。Chandra は、息をして動いていたので、その場に居合わせた人々は、皆、安堵した。

Indy は、自分の赤ちゃんゾウ（Chandra）の臭いを嗅いで、最初のふれ合いをした。

分娩の間、ずっと Indy が落ちついてきたことは、我々にとって驚くほどで、気持ち良かった。

じきに、Indy は、自分の方へ Chandra を引っ張った。

我々は、Indy が自分のお産の際に、どんな行動をとるか解らなかったので（Indy は、初産だった）、我々は、安全対策の目的で、分娩前から Indy をチェーン繋留していた。このチェーン繋留は、分娩により、Indy がパニックに陥り、赤ちゃんゾウや飼育係を攻撃することを防止するために行っていた。

（動物の初産の場合、しばしば、我が子を我が子と認識できず、我が子を侵入者や新参者とみなして攻撃したり、パニックに陥り、介助に入った飼い主を攻撃したりする。）しかし、後になって、Indy にとって、チェーン繋留は、杞憂だったことが解った。



Chandra は、立ち上がろうとし、Indy は、それを助けた。

寝室の床面は、血液と粘液で滑りやすくなっていたので、飼育係たちは、多少の砂を床面にばらまいた。

立って歩く Chandra の最初の挑戦は、うまくいかなかったが、約 10 分後に、Chandra は、自力で立って歩くことができた。



自力で立って歩いた後、赤ちゃんゾウは、母ゾウの乳房を見つけ出し、貴重な初乳を飲まなければならない（これは、赤ちゃんゾウの第二の課題である）。

赤ちゃんゾウは、6 カ月の間、主にミルクばかり飲んで育つが、少しずつ、ニンジン、乾草や木の葉に興味を示すようになる。子ゾウは、3 歳から 4 歳くらいまで、ミルクを飲む。



Aishu（異母兄）と Druk（叔母）は、新入りの赤ちゃんゾウに挨拶する。

Aishu（異母兄）は、かわいらしい異母妹（Chandra）の遊び友達を持った。

しかし、叔母の Druk は、Aishu とあまりに乱暴に遊んでいる若い Chandra を助けようとする。



Fahra が生まれた際の画像（12 枚）は、
<http://www.upali.ch/farha1.html> で見る
ことができます。

Fahim が生まれた際の画像（12 枚）は、
<http://www.upali.ch/fahim1.html> で見る
ことができます。



また、これらの画像は、英語版の一番下の英文の More pictures about [Fahra](#) and [Fahim](#) を
クリックしても見るすることができます。